

# JAひすい自己改革

JAひすいでは、平成28年度から中期3カ年計画を策定し、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域活性化への貢献」を基本目標に掲げて自己改革を進めています。

## 取り組みをお知らせします！

地域にあった栽培技術の確立  
「ヨモギ」の栽培普及 (3.3ha)



▲「新之助」の刈り取り



▲茶摘み用のバリカン機を使ったヨモギ新芽の刈り取り



農繁期に合わせた  
展示会の開催

春と夏の2回開催し  
資材を特別価格で提供



▲春の総合展示会の様子

安全、安心対策による  
農産物の品質向上

残留農薬・放射能検査  
の実施 (6名・2品種)

栽培履歴の作成・確認



農業電子図書館の導入で  
営農相談に即座に対応

病虫害や雑草、農薬など生産に関する情報が簡単に検索できるタッチパネル式の情報端末を、グリーンセンター大和川店・能生店、ひすい食彩館へ導入



地域活性化への活動

市内にある保育園や小中学校と  
食農教育活動を実施  
(56件・2000人が参加/H29)

新品種の栽培普及

新ブランド米「新之助」の普及 (43ha)  
業務用米「つきあかり」の普及 (20ha)



▲地元小学校との「エダマメ・大豆の栽培体験」

高品質、良食味米を  
高価格で販売

市長認証米  
「ひすいの里プレミアム」

園芸生産の拡大、地産地消の推進と  
農業・地域の情報発信

ひすい食彩館の運営 (産直品販売 110百万円)  
農業情報メール・ホームページ・同報無線のフル活用



▲県下統一肥料「越後の輝き」

農業所得増大をめざした  
生産コスト低減

生産資材価格の低減 (県下統一肥料の発売)  
※8月末現在、元肥1万429袋を販売  
「ひすいの里元肥」より333万円のコスト低減



▲市長認定米となった「ひすいの里プレミアム」

平成29年度 産直拡大研修会



▲ひすい食彩館の運営に向け気持ちをひとつに「産直拡大研修会」

産地・生育状況



▲JAひすいホームページでは「産地・生育情報」を随時発信中

## ～ その他の取り組み内容～

○土壌改良剤の散布助成 (500円/10a助成・平成29年度実績は466,922円/93.37ha)

○タマネギ・ジャガイモ・キャベツの周年販売を検討

○電気柵の貸出の実施 (イノシシ用 2段100m×10セット)

○レンタル機の充実 (汎用管理機・溝切機・野菜苗移植機)

